

上川町地域公共交通活性化協議会

令和5年4月17日設置



概要

上川町は北海道のほぼ中心部に広がり、日本最大の山岳公園「大雪山国立公園」の玄関口として古くから親しまれ、層雲峡温泉をはじめ、愛山溪温泉、高原温泉など3つの温泉郷を有し、北海道第一の河川、石狩川の源流部に位置する豊かな自然に包まれた町である。

上川管内のほぼ中央に位置しており、東はオホーツク管内遠軽町、滝上町、南は十勝管内上士幌町、新得町、西は愛別町、当麻町、北は士別市など11の市町に接しており、面積は、1,049.47km²を有し、そのうち山林が全体の87%を占めている。

大雪山国立公園の玄関口で層雲峡温泉を有する上川町は多くの観光客・宿泊客が道内外・国外から訪れ、大雪 森のガーデンなど多くの観光地を抱えている。

上川町の人口は、令和4年1月1日現在で3,308人であり、国勢調査の昭和35年の15,289人をピークに減少している。北海道と比べて、老年人口割合は高く年少人口割合・生産年齢人口割合は低い割合となっている。

○地域公共交通の現況

- ・JR石北本線線(上川駅) ・スクールバス(層雲峡線・越路線・東雲線) ・道北バス(株) (層雲峡線・上川層雲峡線)
- ・越路線(デマンドバス) ・かみくる(コミュニティバス)
- ・福祉有償運送(障害通所送迎) ・層雲峡観光ハイヤー

○地域公共交通の課題

- ・公共交通機関が希薄なエリアの今後の在り方
- ・利用や減少に伴う損失補填等の増大及び担い手の確保
- ・高齢化に伴う運転免許返納者への対応
- ・観光地、宿泊施設等との連携、観光客のニーズの把握

○調査の主な内容

- ・地域における主な交通乗降調査の実施
- ・住民アンケート調査
- ・公共交通実態調査(OD調査)
- ・交通事業者、関係機関等の聞き取り調査

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 4月17日 第1回上川町地域公共交通活性化協議会
 - ・事業計画(案)、予算(案)の承諾
- 8月2日 第2回上川町地域公共交通活性化協議会(書面開催)
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画、上川町地域公共交通計画策定状況について
- 1月17日 第3回上川町地域公共交通活性化協議会
 - ・上川町地域公共交通計画の第1章～第8章について
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価
 - ・地域公共交通調査等事業の事業評価

公共交通の概要



上川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

■上川町の地域公共交通の背景

[人口構造(R2国調、社人研人口推計)]

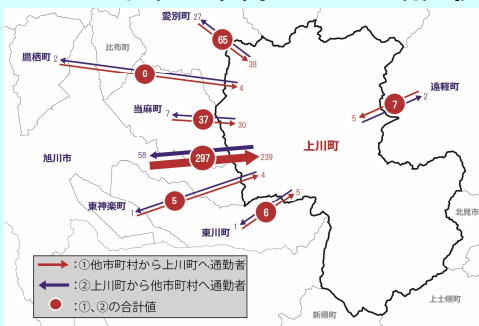
- ・生産人口の減少による通勤者の減少
- ・高齢化率は上昇するが高齢人口については減少局面
- ・15～19歳人口の減少による高校生の減少

[通勤・通学状況(R2国調)]

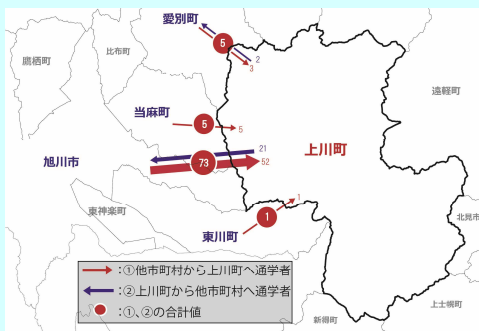
- ・上川町から町外への通勤者106人、逆は361人、計467人
- ・上川町から町外への通学者68人、逆は30人、計98人

[市街地構造]

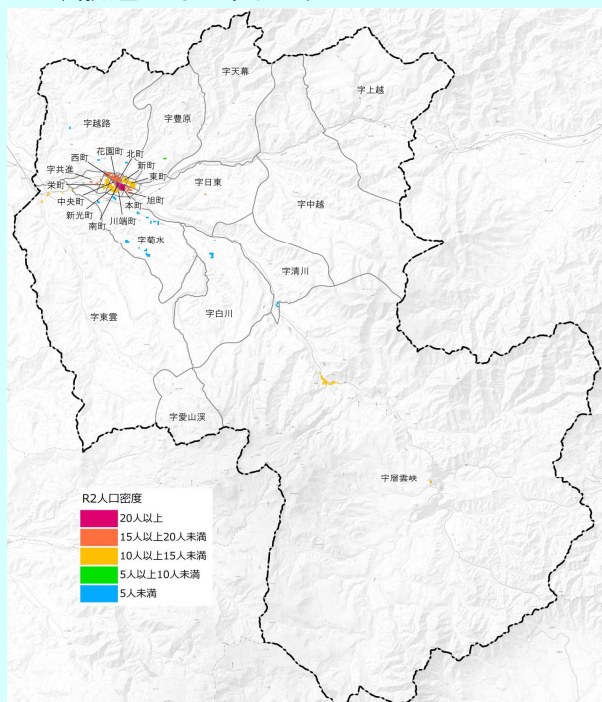
- ・コンパクトな中心市街地地区と観光拠点地区、散逸的な田園地域



上川町の通勤状況(国勢調査R2)



上川町の通学状況(国勢調査R2)



100mメッシュ(1ha)の人口(国勢調査2020))

■上川町の地域公共交通の利用状況

[JR上川駅の利用状況(JR北海道駅別乗車人員特定日調査)]

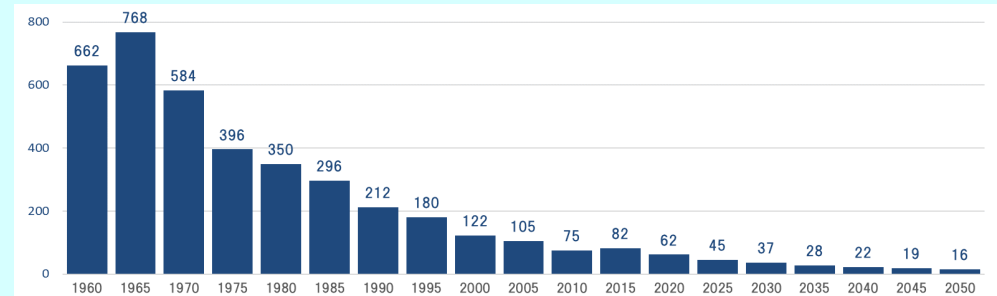
- ・上川駅の乗車人員は2013～2017年から2018～2022年で37%減少

[上川町コミュニティバス「かみくる」の利用状況]

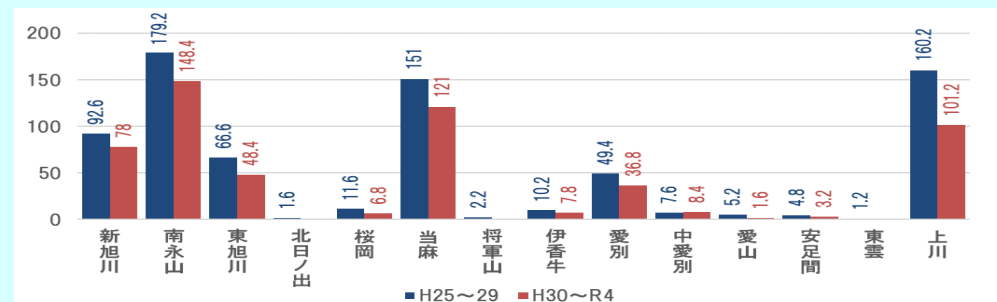
- ・2019年度から2022年度まで利用者数は増加傾向



上川町の高齢者数と高齢化率の推移(国勢調査、2025年以降は社人研の推計値)



上川町の15～19歳人口の推移(国勢調査、2025年以降は社人研の推計値)



駅別乗車人員(JR特定日調査(平日)に基づく)



上川町コミュニティバス「かみくる」の利用者数の推移

上川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

■住民意向(アンケート調査)

[高齢者の移動実態]

- ・70歳以上単身者の60.2%は免許を所有していない
- ・70歳以上高齢者の免許返納意向有が42.3%だが、現在の生活環境では難しいが90.0%
- ・免許返納時に「利便性の高い旭川市・札幌市などへの住替え」と「子どものいる市町村などへの住替え」を検討するが19.1%

[日常生活での移動手段]

- ・町外通勤者は自家用車71.9%、JR8.3%、道北バス8.3%
- ・町外通院者は自家用車62.8%、JR11.2%、道北バス12.6%
- ・買物は自家用車63.7%、徒歩・自転車19.72%、かみくる3.7%

[公共交通の必要性]

- ・公共交通は「絶対に必要」47.9%、「必要」42.3%。計90.2%
- ・必要な理由は「高齢者の足」85.7%、「高校生の通学」10.4%
- ・経費は「必要なため公的経費を今以上かけても維持」77.9%「これ以上の公的経費はかけるべきではない」14.6%
- ・周辺地域の公共交通は、「コミュニティバスやデマンドバス・乗合タクシーがあれば利用したい」54.2%、次いで「現在のタクシー助成券で十分」22.9%

■高校生意向(アンケート調査)

- ・自宅から上川駅間の移動で家族の自家用車による送迎が登校5人(71.4%)、下校4人(57.1%)
- ・町外高校間の移動は、JRが7人(100%)、下校6人(85.7%)

■公共交通実態調査(OD調査)

[JR石北線]

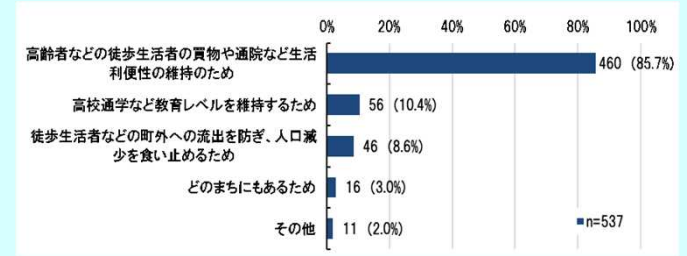
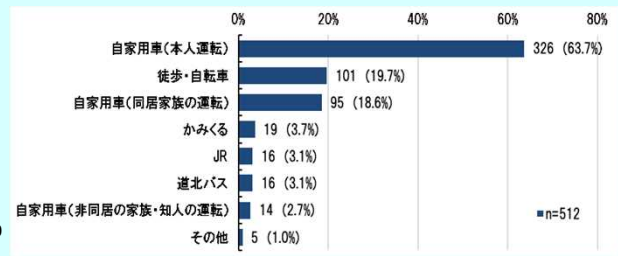
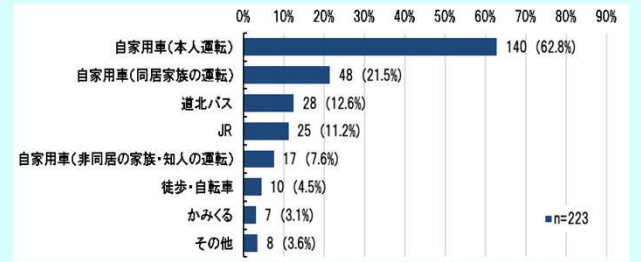
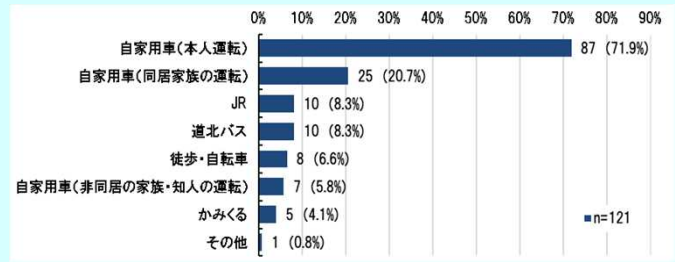
- ・町民の乗降者は上り45.5%、下り27.4%、旭川市の高校などへの通学の利用が多く、用事や通勤、通院にも使われている
- ・町外から上川高校へ通学する乗降者は、上り、下りともに24人
- ・町外乗降者のうち、観光目的は、上り9人、下り23人(国外10人、道外7人など)

[路線バス「層雲峡・上川線(道北バス)」]

- ・利用者数は、上下便それぞれ5.7人/便、4.5人/便
- ・乗降者が0人の便が上下便とも2便

[上川町コミュニティバス「かみくる」]

- ・乗降者数は7東・西ルートで0.8人~2.8人増加傾向
- ・乗車時間は、最大時間が32分



列車種別	上川発時刻	町民	目的	属性	網走	遠軽	上川	愛山	愛別	当麻	桜岡	東旭川	南旭川	新旭川	旭川4条	旭川到着時刻
普通	6:06	町民	通学	高校生			1	1							1	7:08
普通	6:53	町民	通学	高校生			1	1							1	7:57
普通	7:32	町民	通学	高校生			1	1							1	8:33
普通	8:20	町民	通学	高校生			1	1							1	9:32
特急	8:56	以外	観光	外国人												9:41
普通	10:38	町民	用事	高齢者			1	1							1	11:37
特急	11:04	以外	観光	外国人												9:41
快速	13:00	以外	観光	外国人												13:49

発車時刻	町民	目的	属性	層雲峡	上川バス入口	愛別橋	旭川駅前	旭川到着時刻
6:55	町民	通院	高齢者			1	1	6:55
8:20	町民	通院	高齢者			1	1	8:20
9:15	町民	用事	高齢者			1	1	9:15
11:55	町民	用事	高齢者			1	1	11:55
11:30	以外	観光	外国人					11:30

JR下り便	層雲峡乗継人数(7/20)	道北バス層雲峡往発車時刻	乗継時間
8:01	-	9:50	1:49
9:11	4	9:50	0:39
10:16	-	10:40	0:24
11:08	-	12:10	1:02
12:55	1	13:40	0:45
(特)13:27	-	13:40	0:13
14:48	-	15:00	0:12
15:34	1	16:00	0:26
17:32	-	18:00	0:28
(特)17:46	3	18:00	0:14
19:39	-	20:05	0:26
(特)19:48	-	-	-
22:04	-	-	-
23:01	-	-	-

便名	発車時刻	乗車時間(分)
①-1	7:35	32
②-2	9:20	24
②-3		21
②-4		21
②-5		28
②-6		19
②-7		6
③-1	11:10	16
③-2		15
③-3		15
④-1	13:30	4
⑤-1	15:05	6

No.	出発時刻	属性	①上川	②未町	③旭町	④旭町	⑤大雷	⑥新町	⑦旭川	⑧上川	⑨ダマ	⑩かみ	⑪ふれ	⑫あ	⑬セ	⑭旭	⑮上	乗車者数
1-1	7:35	高齢者																1
2-2	9:20	高齢者																1
2-3		高齢者																6
2-4		高齢者																1
2-5		高齢者																1
2-6		高齢者																1
2-7		高齢者																1
3-1	11:10	高齢者																3
3-2		高齢者																1
3-3		高齢者																1
4-1	13:30	高齢者																1
5-1	15:05	高齢者																1
計			0	2	3	1	0	0	11	12	12	8	3	3	3	3	1	12

JR上り便の乗車者状況(7/20) 路線バス上り便の乗車者状況(7/20) かみくる東ルートの乗車者状況(7/20)

上川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

上川町の地域公共交通の課題(暫定)

■広域の移動を支える公共交通

・JRと道北バスは、高校生の通学や高齢者の通院など旭川などへの移動と外国人などの層雲峡への観光の移動を支えており、その維持とサービスの向上が必要

■町内の移動を支える公共交通

・コミュニティバス「かみくる」とタクシーは、高齢者などの徒歩生活者の生活の足となっており、その維持とサービスの向上が必要

■観光を支える公共交通

・更なる観光客の誘致のため、上川駅でのJRと路線バスの乗り継ぎの利便性の向上やインバウンド向けの分かりやすい情報発信が必要

■まちづくりの視点での地域公共交通

・定住促進や、教育環境の確保、健康・幸福度の向上、地域経済の活性化、低炭素社会の実現など、公共交通をまちづくりの視点で捉えることが必要 ■持続的で低炭素な

社会を実現する地域公共交通

・人口減少時代での少ない利用者でも様々な価値を生み出す持続可能な地域の足として不可欠な地域公共交通システムが必要

・自家用車からより鉄道、バスへの利用を図ることにより、移動(交通)に関する低炭素化を図ることが必要

上川町の地域公共交通計画に向けた方針(暫定)

■目標「みんなに喜ばれる上川町ならではの持続可能な地域公共交通の構築」

■方針

①通院、通学などを支える鉄道、路線バスの維持、充実

- ・町外高校への通学と上川高校への町外からの通学利便性の向上
- ・上川医療センターと連携した適切・安心な医療環境の構築

②高齢者の日常生活を支えるコミュニティバス、タクシーの充実

- ・中心市街でのコミュニティバスと周辺地域でのタクシーの利便性の向上
- ・高齢者の免許返納の推進

③観光を支える公共交通まちづくりの推進

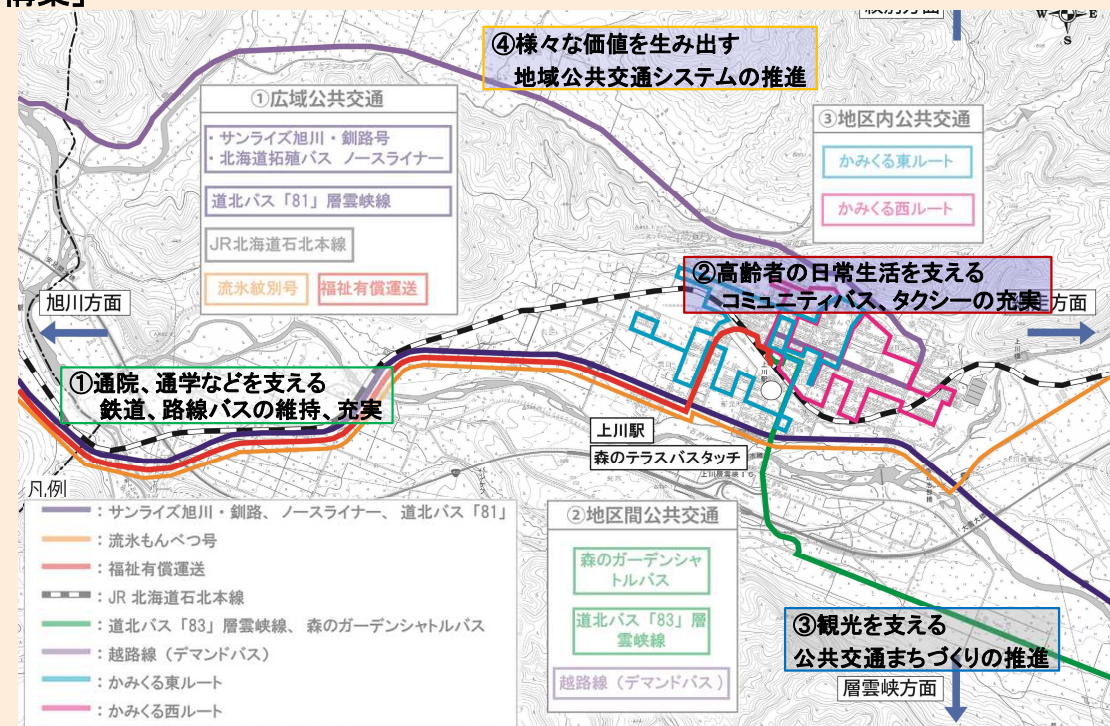
- ・層雲峡などの観光地へのバスの利便性向上
- ・JRとバスの乗継時間を楽しむ空間、サービスの展開

④様々な価値を生み出す地域公共交通システムの推進

- ・観光などの地域経済や移住・定住。交流人口、関係人口の増進
- ・健康寿命の増進と社会保障費の抑制

⑤利用者が少なくても持続可能な地域公共交通システムの構築

- ・経費負担が小さく、利便性が高い身の丈に合った地域公共交通システムの構築



上川町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

■施策展開

方針①「通院、通学などを支える鉄道、路線バスの維持、充実」

- ・上川高校への通学費助成 など

方針②「高齢者の日常生活を支えるコミュニティバス、タクシーの充実」

- ・高齢者、障がい者へのタクシー助成制度、高齢者の免許返納の誘導策の検討

方針③「観光を支える公共交通まちづくりの推進」

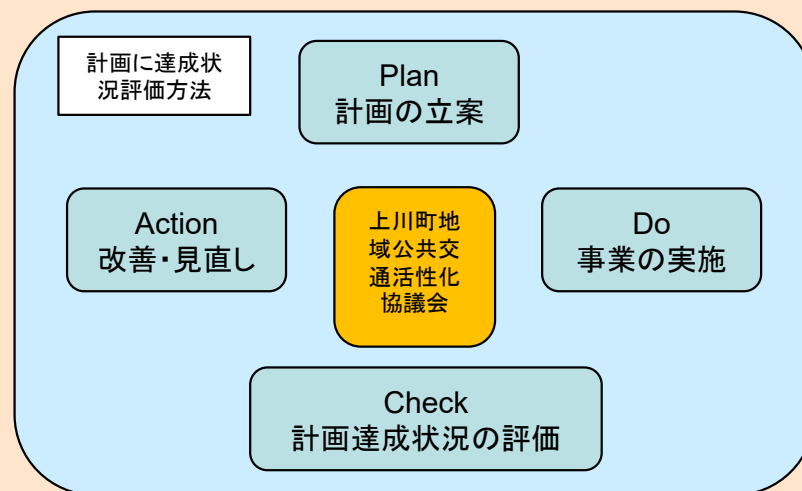
- ・JRとバスの接続ダイヤの検討、多国語での乗り継ぎ情報の発信、駅周辺の待合機能の充実、市街地巡りマップの作成など

方針④「様々な価値を生み出す地域公共交通システムの推進」

- ・行政をはじめた分野での連携、地域公共交通のアウトカム、インパクトの見える化など

■計画の達成状況・評価方法

- ・目標を踏まえて、目標達成のための施策・事業の内容や実施主体(上川町・交通事業者等の役割分担)、実施スケジュールの設定を行う。
- また、基本的な方針・目標を踏まえた新たな公共交通体系のイメージの整理を行う。



●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定の際は、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。